

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16.5～23℃台を示し、やや低い～平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり18kgの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり58kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり732kgの水揚げで前週の5倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり7kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり413kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アオリイカなどが1日1統当たり39kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり185kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり107kgの水揚げで、前週の78%（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/29～12/4日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（武蔵堆周辺海区及び大和堆周辺海区へ、一部に切揚船も有り）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 1日1隻入港、総計16箱、スルメ（20入・バラ入）2箱、ケンサキ（2立半）14箱を中心に漁獲。

（漁業情報サービスセンターより）